

東京遊協・全日遊連

原田理事長 秋の褒章で
「藍綬褒章」受章



東京都遊技業協同組合の理事長であり、全日本遊技事業協同組合連合会の理事長でもある原田實氏に、平成23年度秋の褒章において「藍綬褒章」が授与されることが決定した。

「藍綬褒章」は、「公衆の利益を興し成績著明なる者又は公同の仕事に勤勉し労働著なる者」に授与される褒章で、原田理事長の暴力団排除活動などの公益への貢献活動が高く評価されたもの。

現職のパチンコ業界理事長が受章されるのは業界にとっても極めて名誉なことと言える。

褒章の伝達式及び皇居での天皇陛下への拝謁は11月11日に行われる。また都遊協、全日遊連が受賞祝賀会の開催を計画している。

原田實氏(はらだみのる)／1927年(昭和2年)、愛知県北設楽郡生まれ。愛知県立第一師範学校卒。55年東京・中野区でパチンコ店開業。90年、東京都遊技業協同組合理事長。現在、全日本遊技事業協同組合連合会(全日遊連)理事長、全日本社会貢献団体機構理事長など、歴任。

RSN

9月相談数94件、上半期516件

ばちんこ依存問題相談機関のNPO法人「リカバリーサポート・ネットワーク」(RSN)は、さくら通信10月25日(第54)号で9月の相談数は94件と発表。今年度累計は516件。2006年4月からの相談累計は6028件となった。

本人からの相談68件のうち、相談経路では、ホール内ポスター58件、インターネット4件などとなった。おり、新デザインとなったポスター

「チラシ」の店舗における活用をさらに呼びかけている。

4月から9月までの今年上半期については、東日本大震災の影響による節電対応などが、依存問題の相談現場に及んだのかを検証していた。震災の影響は「地域別相談件数」など限定的。昨年の貸金業法の改正、ユーザー嗜好の変化などの影響が時間経過とともに相談電話に出てくる傾向を想定。震



新しくなったRSNポスター

北斗の拳 唯一無二
スワロフスキーまとったケンシロウ

10月25日、銀座博品館(東京)で初披露されたのは、大粒スワロフスキー(20号サイズ)約50万個を身にまとった等身大ケンシロウ(全高約1.8メートル)。これは、月刊コミックゼノン(創刊1周年を記念して「ゼノンオンラインストア」のオープン目玉として作られた逸品。原哲夫氏の徹底監修、海洋堂制作による最高の仕上がり。スワロフスキーだけでも時価1000万円という神髄のフィギュアは、歩行者天国の銀座を盛り上げた。

その後、11月1日から場所を羽田空港に移し、約1カ月ケンシロウが航空機利用客の送り＆迎えす



オーラすら感じさせる等身大ケンシロウ

る。

11月末日の展示終了後、12月11日(日)より「Yahoo!オークション」

に出品される。激レアアイテムの落札額に注目が集まる。